27年2月分　　問屋、仲買、小売商の先行き動向調査

１.調査実施期間

平成27年 1月20日～ 27年2月10日

２.調査実施方法

東京、大阪、名古屋の問屋、仲買・小売商に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
2月分の回答企業数は45社である。

３.判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)＝{(「増加」の評価を行った回答の割合)×2＋(「やや増加」の評価を行った回答の割合)－(「減少」の評価を行った回答の割合)×2－(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

４.調査結果の概要

(1) 荷動き動向　Weight.Ｄ.Ｉ.

品目		26/2月	3月	4月
仕入動向	国産材	△ 25.0	△ 16.2	△ 2.8
	外材	△ 29.3	△ 10.7	△ 3.8
販売動向	国産材	△ 34.2	△ 16.2	2.8
	外材	△ 34.5	△ 12.2	△ 5.0
在庫動向	国産材	△ 23.6	△ 18.1	△ 5.7
	外材	△ 22.6	△ 13.4	△ 10.0

・製材品の仕入れは、国産材、外材とも3ヵ月連続して減少。

・製材品の販売は、国産材は2月、3月の減少が4月は微増に。外材は3ヵ月連続して減少。

・製材品の在庫は、国産材、外材とも3ヵ月連続して減少。

(2) 価格動向　Weight.Ｄ.Ｉ.

品目	26/2月	3月	4月
スギ正角(グリーン)	△ 2.0	0.0	0.0
スギ正角(ＫＤ)	△ 1.9	1.9	4.0
ヒノキ正角	△ 1.7	0.0	3.8
ヒノキ土台角	△ 1.8	0.0	2.0
米ツガ正角(現地挽)	17.9	15.4	2.0
米ツガ防腐土台角	22.4	16.7	5.8
米ツガ割物(現地挽)	28.6	21.2	8.0
米マツ平角	23.2	11.5	6.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	23.4	21.7	15.5
ホワイトウッド集成管柱	18.8	6.9	7.4
レッドウッド集成平角	15.5	7.7	6.0
型枠合板(輸入)	37.5	25.9	14.0
針葉樹構造用合板	0.0	3.8	6.3
針葉樹構造用合板(厚物)	△ 2.0	0.0	6.8

・スギ正角（グリーン、KD共）は2月のやや弱保合が3月、4月は総じて保合で推移。
・ヒノキは2月のやや弱保合が、3月保合、4月はやや強保合か。

・米ツガ製材品は2月、3月の強保合が4月には保合に。
・米マツ平角、WW集成管柱及びRW集成平角は2月の強保合が3月、4月はやや強保合に。
・北洋アカマツタルキは2月、3月の強保合が3月はやや強保合に。

・型枠合板（輸入）は強保合ないしやや強保合で推移。
・針葉樹構造用合板は2月の保合から3月、4月は総じてやや強保合で推移。

（３）モニターからのコメント

＜荷動き動向＞	
仕入れ動向	**東京** **（米材問屋）** ・為替の円安定着で妙味が薄れ、在庫にしようという意思は完全になくなり、今後も当用買いに徹するつもり。 **（外材問屋）** ・売行き不振ながら材は少ないので通常通りの仕入れ。 ・2 月末まで入荷量が少なくなる見込みで、希望する者が入手出来ない可能性がある。2 月の仕入れは減少、その後は荷動きにより流動的となる。 **（集成材問屋）** ・毎年 2 月は売り上げが一番少ないので仕入れは抑える予定。 **（中国・南洋材問屋）** ・産地は春節（旧正月）休み前で生産量減少、更に他国の買い付け弱まらず高値。 ・W／セラヤ平割少なく（特に 24mm）厚盤の挽き直しで対応。 ・旧正月前なので本格的なネゴは行われていない。原木の出材が悪く、現地は強含み。 **（広葉樹等問屋）** ・出材期だが、原料不足のため出材量増えず。 **（国産材問屋）** ・伐り旬の良い材は仕入れる姿勢。 ・最近 2 ヵ月、動きが悪いため仕入れは控えめ、必要な物のみ小口買い。 **（仲買・小売）** ・荷動き悪い。 ・1 月に引き続いて動き悪く、仕入れは控えめになると予想。 ・新築物件があるため輸入材のみ増加。 ・力を入れて仕入ようとする材種はない。 ・平年月と変わらず、外在、WW が物によって少ないらしい。 **大阪** **（仲買・小売）** ・年が変わっても荷動きが少ない模様、2 月後半に期待する。 **東海** **（外材問屋）** ・やや動きは悪いが、仕入れは横ばい。北欧材仕入れにくい。 **（仲買・小売）** ・2 月が大底と思われる。3 月～4 月は順調に回復すると思うので仕入れを増やしたい。
販売動向	**東京** **（米材問屋）** ・内地材のスギ、ヒノキの安値に押されて販売不振が続いている。先月に若干の引き合い成約があったが、先月末より再び低迷。 **（外材問屋）** ・不振の一言。 ・全体に入荷少なく特に売れ筋の物の入荷少ないため売れる物がない状態が続く。しかし、末端に仕事が出ていないため 2 月末から、入荷しても量的に多くは売れない。 **（集成材問屋）** ・2 月はある程度売上減はいたし方ない。 **（中国・南洋材問屋）** ・造作材の荷動きはあるが、例年よりは少ない。仕入れ値は毎回上がるが、売値への転換は遅れがち。 ・加工付の販売は好調なれど、まとまった仕事には対応出来ない。 ・バンドルの荷動きは低調。注文は細かいが引合はある。 **（広葉樹等問屋）** ・2 月は需要多少増えるも、昨年程の引合にならない。 **（国産材問屋）** ・造作加工材のみ好調。 ・羽目板、スノコ類の動きは良い。 ・まとまった動きはない。小口のリフォーム等での動き。 **（仲買・小売）** ・販路が狭くなっている。 ・細かいが動いている。 ・荷動き悪い。 ・厳しい状態が続くと予想。

販売動向	・仕事が重なり体は忙しいが、利益の幅は少ない。3 月中旬までは仕事がいくらかあるが、それ以降が何も決まっておらず、先行きが心配。 ・新築物件があるため輸入材のみ増加。 ・保育園の物件多く、造作材の動きあり、枠材関係ではツガ無地、羽目関係はスギ材と量的にそこそこ動く。 ・エゾタルキを中心に横ばい。 **大阪** **（仲買・小売）** ・荷動きが悪い、3 月頃より少しは忙しくなるかも。 **東海** **（外材問屋）** ・プレカット工場の稼動悪くやや売りづらい。WW 羽柄材はまだ少ない。 **（仲買・小売）** ・1 月も低調、2 月も引き続き低調、3 月からは右上がりと予想、3 月で低迷期は脱出する。 ・2 月はヒマになった。
在庫動向	**東京** **（米材問屋）** ・売れてから買っても間に合うので、在庫は全く増減なし。 **（外材問屋）** ・材は少ないのでいつも適正在庫をキープ。 ・入荷少なく 2 月は在庫が少ない状態が続くが、2 月末～3 月に入荷が多くなり荷動き少なければ在庫は通常ペースに戻る見込み。 **（集成材問屋）** ・仕入れは減少の予定だが、売り上げが大幅減だと在庫が増加する恐れがある。 **（中国・南洋材問屋）** ・入荷量少ないために在庫も減少傾向が続く。 ・減少の一途、15 号地の在庫も底をつきました。 ・入荷・出荷ともに少なく、バランスはとれている。 **（国産材等問屋）** ・値段は大底。在庫を現在価格なら積み増したいくらいだが、生産が落ちていて思うに任せない。 ・良材に関しては仕入れしたい。 **（仲買・小売）** ・荷動き悪い。 ・急いで仕入れるものはないが、定期的に仕入れているものは問屋さんの要請もあり、仕入れることになる。 ・国産材、外材共に通常在庫量にとどめる。 ・ほぼ横ばい。 **東海** **（外材問屋）** ・横ばい。 **（仲買・小売）** ・2 月は在庫が 12 月、1 月の物があるので増やせない状況にあり、3 月以降は増やしたい。

〈価格動向〉	
スギ正角	**東京（国産材問屋）** ・相場が動かず。 **東京（仲買・小売）** ・大手が輸入からスギへ柱を切り変えるとのニュースがあったが、それがどう価格に影響してくるのかまだ分からない。 ・荷動き悪い。 ・保合。 ・保合。 **東海（仲買・小売）** ・2～3 月は在庫を減らす状況なので相場は上昇するまでは行かない。4 月頃から強気で上昇すると思う。 ・国産材は価格が安定していて品数も多い。
ヒノキ正角 土台角	**東京（仲買・小売）** ・荷動き悪い。 ・保合。 ・保合。 **東海（外材問屋）** ・変わらず安い。 **東海（仲買・小売）** ・特に正角は販売不振で底値で推移しているが、4 月頃から販売は増えると思うので、やや相場は上昇する。土台が一番販売不振に陥っているので、2～4 月では上昇するだけの販売拡大は見込めない。 ・米ツガ割物不足状態が続く。
米ツガ	**東京（外材問屋）** ・正角は入荷量少なく、コストも大幅上昇、値上げ幅は小さいが確実に値上げとなっている。土台角は素材の値上がりから値上げとなっている、荷動きは良くないものの強気に変わりはない状況。割物は入荷量少なくコスト大幅上昇で米マツも大幅値上げとなっていることから値上げ。 **東京（仲買・小売）** ・割物少ない。 ・問屋在庫も減少気味、円安の影響これから。 ・先月より値上がり傾向。 ・輸入材がじわじわ上昇している。単価を決めて納めているお客には単価を上げられず、苦労。 ・時期的に良材がなく、単価にも影響が出るのでは（円安も関係する）。 ・輸入物は強いが荷動きは悪い分まちまち。 ・正角・土台は横ばいだが、割物はやや強い。 **東海（外材問屋）** ・1 月値上げ後、横ばい。
米マツ平角	**東京（外材問屋）** ・値上げの話がなくなった。 ・コストは上昇も、荷動き悪く値上げはできない状態。 **東京（仲買・小売）** ・問屋在庫も減少気味、円安の影響これから。 ・強保合。 ・時期的に良材がなく、単価にも影響が出るのでは（円安も関係する）。 ・少しずつだが上昇している。 **東海（外材問屋）** ・値上げできず横ばい。
北洋アカマツタルキ	**東京（外材問屋）** ・2 月まで入荷量は増えない見込み、ルーブル安もこれから入荷する物のコストが一番高いため値上げせざるえない状況、良材の入荷遅れもあり強含みの相場。 **東京（合板問屋）** ・入荷少なくコスト高。 **東京（仲買・小売）** ・良品品物少なく強い。 ・問屋在庫も減少気味、円安の影響これから。 ・強めながらも相場は保合。 ・時期的に良材がなく、単価にも影響が出るのでは（円安も関係する）。 ・動きが悪く値が上がらない分物が悪い。 ・保合。

	大阪（仲買・小売） ・値と材が安定している。 **東海（外材問屋）** ・変わらず。
WW･RW 集成材	**東京（外材問屋）** ・値上げの話がなくなった。 ・荷動き悪く、1 月値上げも 2 月からの値上げは通らなくなっているが現状強保合がいっぱいの所。 **東京（集成材問屋）** ・じり高。 ・商社、メーカーは値上げしたいようだが、実需が伴わないので現状維持か？ **東京（仲買・小売）** ・問屋在庫も減少気味、円安の影響これから。 ・WW は弱保合。 ・円安が影響か。 ・やや強保合だが、先を見ても横ばい。 **東京（国産材問屋）** ・注文くるのは小口のみ、まとまった動きなし。 **東海（外材問屋）** ・メーカーの荷動きはまずまず良好らしい。価格は横ばい。
合板	**東京（仲買・小売）** ・針葉樹合板今は単価横ばい。3 月頃より少しは値上げかも。 ・輸入合板は全体的に値上げが浸透、針葉樹は下げ止まり、直ぐの反発はなさそう。 ・型枠合板は強気配、針葉樹合板はその気配見られず。 ・針葉樹は保合。その他型枠を含めた合板類は強い。 ・円安が影響か。 ・型枠用合板は小刻みながら上昇、針葉樹合板はそれほど動かない。 **東京（合板問屋）** ・荷動き悪い、港頭在庫も多い、入荷ズレによりコストまちまち。 **大阪（仲買・小売）** ・少しずつ値上がり傾向。 ・ラワン、シナ合板は強い。 **東海（外材問屋）** ・針葉樹合板はやや弱含みの横ばい。 **東海（仲買・小売）** ・針葉樹合板は 1 月 1 枚当たり 10 円位値下がり。針葉樹構造用合板（厚物）は 1 枚当たり 100 円値下がりしている。 ・型枠用合板の上げ幅がかなり上昇している。